

## 奈良教育大学サマースクールを実施しました

奈良県内の高校生を対象とした奈良県教育委員会主催の夏期講座（サマースクール）を本学で令和6年度より新たに実施しました。県内高校生に大学での高度な学びを提供し、興味・関心を高めてもらい、高校での学びをより深めてもらうとともに、高校卒業後、また将来の学びにつなげることを目的とした講義です。

7月25日(木)、8月1日(木)には、「多言語」「国際理解」をテーマとして『講座：自分自身の言語の能力や学び方を考えてみよう』（講師：吉村雅仁教授）が行われました。

受講生は、新たな言語能力の捉え方、それに基づく言語教育のあり方（複数言語を学び比較することによる相乗効果）を学び、演習を交えながら、自分の言語能力を意識化していきました。

7月29日(月)、8月5日(月)には、「データサイエンス」をテーマとして、『講座：身近なデータを【サイエンス】してみよう』（講師：竹村謙司教授）が行われました。

受講生は、日常の身近な事象をデータ化することで、バイアス（偏りや主観）を取り除きファクト（客観的な事実）をとらえることを学び、分析ツールを用いた様々な活動を通して、課題発見力や課題解決力を高めました。

各講座修了後には、担当講師より、修了証書を参加した生徒に、直接授与されました。参加した生徒からは、「自分が興味があったことを深く学ぶことが出来た」「自身で考えながら受講することが面白く、理解しやすかった」「実際の大学授業を受けたくなった」「自分の身近なことに関連付けて考えることができ、普段より深く思考できた」など前向きな意見がありました。

『講座：自分自身の言語の能力や学び方を考えてみよう』の様子





『講座：身近なデータを【サイエンス】してみよう』の様子

